

「ねらいの提示」「指導」「まとめ・振り返り」を意識した算数科の実践事例

本時の概要	教科・学年	算数科・小学校6年
	単元名	分数のわり算を考えよう（2 / 13）
	ねらい	真分数÷真分数の計算の仕方を考え、説明することができる。 （数学的な見方や考え方）

導入

ねらいの提示

児童とめあてを共有します。



前の時間は、 $\frac{3}{4}$  dL のペンキで  $\frac{2}{5}$  m<sup>2</sup> の壁が塗れるとき、1 dL のペンキで塗れる壁の面積を求める式を考えました。どのような式ができましたか？

$\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$  という式ができました。



答えは、何m<sup>2</sup>になるのか知りたいな。

でも、どうやって計算すればいいのかしら？



せっかく式を立てたのですから答えが何m<sup>2</sup>になるのか知りたいですね。今日は、分数同士のわり算の計算のしかたを考えていきましょう。



めあて

分数同士のわり算の計算のしかたを考え、その考え方を説明しよう。

展開

指導

ねらいを達成するために学習形態を工夫します。

※ 本時はTTでの習熟度別授業を想定しています。



どうすれば計算のしかたを考えられそうですか。

かけ算のときのように数直線で考えてみようかな。



わる数が整数なら計算できるから、整数になおすことができないかしら。



※ 考え方の見通しをもたせましょう。



では、少し難しいかもしれませんが、まずは一人で考えてみましょう。

※ 自力解決の時間を確保します。

【教室の前と後ろに学習スペースを作ります。】  
 <自力解決ができる児童>



同じ考え方の人同士集まって、お互い説明し合って考えてみましょう。

※ 児童は、数直線や図を用いて考えたり、式を変形させて考えたりすることが予想されます。同じ考え方の児童が集まり練習合うことによって思考を深めます。

<支援が必要な児童>



一人ではどう考えたらいいのかわからなかった人は、先生の所へ来てください。このワークシートを使用して一緒に考えてみましょう。

ワークシート①

6年算数 分数のわり算 ヒントカード①

◎ 1は $\frac{1}{4}$ が( )こ分 → 答えは $\frac{1}{4}$ dLでぬれる面積△を( )倍する!

ワークシート②

6年算数 分数のわり算 ヒントカード②

△を求めるには...

◎  $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{4}$ が( )こ分 →  $\frac{2}{5}$ を( )等分すれば△が出る!!

式  $\triangle = \frac{2}{5} \div ( ) = ( ) = ( ) \leftarrow \frac{1}{4}$ dLでぬれる面積

↑

△が4こ分で1dLになるので、

式 ( ) = ( ) = ( )

ワークシート③

6年算数 分数のわり算 ヒントカード③

$\frac{2}{5} \div 3, \frac{2}{5} \times 4$ の2つの式をまとめると

式 ( ) = ( ) 答え

計算のしかたが説明できるように自分の言葉でまとめさせます。



では、計算のしかたについて説明しましょう。

※ 説明でわからなかったことについては、質問をさせましょう。質問については児童同士のやりとりが理想的ですが、場合によっては、教師が解説していきましょう。

**終末**

**まとめ・振り返り**

**振り返りを充実させます。**



何人かの人に説明してもらいましたが、そこから何か気付いたことはありますか。

分数同士のわり算では、わる数の分子と分母を入れ替えて、かけ算になおせば計算できます。



**まとめ**

**分数同士のわり算では、わる数の逆数をかける。**

児童から言葉を引き出してまとめると効果的です。

最後に、今日の授業の振り返りをしましょう。

分数同士のわり算は、わる数の逆数をかければ計算できるのか確認してみたいです。

